

項目		説明
試料・情報の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	HER2 陽性早期乳がんに対する治療の現状と発展
	研究対象者	HER2 陽性と診断された早期乳癌患者さんのうち、2020 年 7 月から 2026 年 3 月の間に神奈川県立がんセンターで術前 TCbHP 療法を受けられた方
	研究目的	Stage2 以上の HER2 陽性乳癌では術前 TCbHP 療法が世界的には標準療法となっています。しかし、日本ではこのレジメンを採用している施設は少なく、その理由として効果、副作用を懸念している施設もあります。そのため当院での症例の効果、副作用を集計して報告します。
	研究方法	カルテデータから個人が不明な状態で副作用の頻度、効果を集計します
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	総長が研究実施を許可した日 ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[X] 情報:	[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[] 生年月日、 [X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[X] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、[X] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、 [] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	乳腺外科 山下 年成
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター 乳腺外科 山下年成（045-520-2222） 利用停止のお申し出は 2026 年 7 月 9 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります